

# 有明海に生息する生き物

## 1 有明海ってどんな海

有明海は、佐賀県・福岡県・長崎県・熊本県の4県で囲まれた内湾です。日本最大の干満差、干潟の面積を誇ります。有明海は、深いところでも二十数メートルと浅く、めずらしい生き物が生息していることも特徴の一つです。

## 2 どんな生き物が生息しているのか



トビハゼ



ムツゴロウ



ワラスボ



アゲマキガイ



ヤマトオサガニ

国内での記録が有明海だけに限られる種を、有明海特産種といい、有明海以外ではごく限られた海域にしか生息しない種を、有明海準特産種といいます。有明海特産種が23種、準特産種が40種類以上確認されています。

## 3 活用について

(1) 単元 第6学年理科「生物と地球環境」

(2) 活用方法

わたしたちが住む地球は空気につつまれ、豊富な水があります。そのような環境の中で、生物同士が、また、環境と生物が多様に関わりながら生活をしています。海域状況が悪化していることや、そのために貴重な生きものが減少しているという昨今の状況を知らせれば、子ども達は、環境問題を身近な問題として捉えることができることと思います。

トビハゼ

撮影者：田島正敏氏／撮影時：1995.2.26／飼育個体（干拓の里むつごろう水族館）

出展：「佐賀の淡水魚（佐賀の自然デジタル大百科事典）」

ムツゴロウ

撮影者：田島正敏氏／撮影時：1995.6.10／撮影場所：六角川

出展：「佐賀の淡水魚（佐賀の自然デジタル大百科事典）」

ワラスボ

撮影者：田島正敏氏／撮影時：1993.11／捕獲場所：筑後川

出展：「佐賀の淡水魚（佐賀の自然デジタル大百科事典）」

アゲマキガイ 撮影者：中村安弘

ヤマトオサガニ 撮影者：中村安弘